

1. 評価報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	1970101927
法人名	社会福祉法人 緑栄会
事業所名	グループホームわかば
所在地	〒 400-0051 甲府市古上条町163-1 電話番号 055-243-1001

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	山梨県甲府市北新1丁目2-12号		
訪問調査日	平成20年1月30日	評価確定日	平成20年2月28日

【情報提供票より】平成19年12月26日 事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15人	常勤	13人 非常勤 2人 常勤換算 5.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円	
敷 金	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(100,000) <input type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	0 円	昼食	0 円
	夕食	0 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1000 円			

(4) 利用者の概要 平成19年12月26日 現在

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	61 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立甲府病院・ばんどう整形外科クリニック・本田歯科医院
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】作成日 平成20年2月11日

大型スーパーなどが並ぶ賑やかな大通りを少し入った静かな住宅街にある。隣にデイサービスを併設している二階建ての2ユニットのグループホームである。事業者は口腔ケアを通じて認知症ケアに関心を持ちデイサービスとグループホームを立ち上げた。「利用者に負担をかけない運営を目指す」という考えで低料金で丁寧なケアをおこなっていて職員の努力が伺える。1階・2階それぞれの個性の雰囲気があり、どの利用者も穏やかに生活している。ホーム内は明るく広々としている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、①「さくら」「わかば」各ユニットの入口が分かりにくい②玄関の周りが殺風景であるが要改善点であったが①については手作りの木のプレートを設置②についてはプランターに花を植えて置いて改善した。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ① 全職員で自己評価に取り組んだ。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月に一度実施している。ホームの事業報告・年間事業計画・外部評価結果・ホームの経営状況について討議してもらい、地域とのお付き合いの協力依頼をしている。地域とのお付き合いでは4月から自治会へ入会することになった。市の担当者の参加が少なくホームからの要望が届きづらい状況である。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情箱を設置してあるが直接の苦情の受付はない。ホームへの家族の来訪の機会を増やし、直接意見や要望を受け入れる努力をしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営推進会議を通じ地域との交流を図っているが、まだ地域にホームの存在や役割、意義を認識されるに至っていない。

2. 調査報告書

事業所名: グループホームわかば

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの受付に分かりやすい文字で地域の中で暮らすためのホーム独自の理念が掲示してある。今後、文章を工夫し簡略化する予定である。各フロアごとに「まごころ」「えがお」とスローガンを利用者の字で書いたものを掲示してある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のミーティングで管理者と職員は、共に理念の確認を行う他、日常の申し送りの時に「利用者主体にその人らしさを受け入れ、自分で出来ることを引き出すサポート」を日常的に話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を通じ地域行事の情報を得ている。4月から自治会へ加入予定である。職員の紹介で歌や踊りのボランティアの訪問はあるが近隣住民との交流はあまりない。	○	職員の根気強いアプローチで近隣住民との交流を計り気軽に立ち寄れるグループホームづくりをしてもらいたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者・職員全体で、また外部評価の結果についても全職員で検討し改善に取り組んだ。前回の改善点、玄関の分かりにくさは手作りの木のプレートにユニットを描き個々の玄関に取り付け、玄関前に花のプランターを置いた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度実施しているホームの事業報告・年間事業計画・外部評価結果の報告及び取り組みについてなど議題として取り上げる他、ホームの経営の実情や地域との付き合いについて問題提起をしているが、まだ成果を得られない。	○	運営推進会議を足がかりとして包括支援センター・市の担当職員の協力を得て地域との付き合いを広げるよう努力をして欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームから市へ相談に出向くことはあるが、運営推進会議には市の担当者の出席は昨年度一度あったが、それ以外の出席は得られていない。	○	ホームから市の担当者に運営推進会議への毎回の出席を要請し地域密着型のホームとして近隣住民との交流の橋渡しとして協力を得られるような関係作りを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ホームの行事のスナップ写真や入居者一人ひとりの日常の様子を書き添えた「ホーム便り」と料金明細書を送付している。家族来訪を促すため毎月、家族対応の健康診断も勧めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書に苦情の窓口が明記してある他、「ホーム便り」にも記載してある。運営推進会議に家族代表のメンバーが出席しやすいように時間帯の考慮もしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来7名の退職者が居る。入居者への影響はあまり見られないが家族の不安が見られる。	○	事業者・管理者の努力と工夫によって職員の異動による不安解消に努めてほしい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、内部学習会を行っている。また管理者は外部研修の必要性を職員に伝え、受講するよう勧めしており、そのためのシフト調整も行っている。初任者にはリーダーがオリエンテーションチェックによって仕事の訓練を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター主催の勉強会で各グループホームの情報交換を行い、交流を計っている。ネットワーク化はされていない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があったときは、ホームの職員が自宅を訪問し、家族や本人と話すことで希望を聞きだしたり、状況を把握することに努めている。また本人と家族がホームを訪れ昼食を共にすることでホームに馴染むことも出来る。デイサービスからの入居の例もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	若い職員は、利用者の昔の話からしきたり、礼儀、慣習を学ぶことが多い。また料理・裁縫なども利用者より教わっている。1階2階合同でのレクリエーションは職員も一緒に楽しんでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望を取り入れホームでの毎月のイベントやデイサービスとの合同レクリエーション・野菜作り・季節ごとの行事・ピクニックなど利用者の生活に変化をもたせる工夫をしている。また入浴を楽しむためのデイサービスでの入浴も行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族から得た情報により写真入のインホームを作成し、本人の生活歴・性格・体質・病歴・食物の好みなどを記入し、これを基に毎月のカンファレンスで介護計画を立てている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	長期は1年、短期は6ヶ月の介護目標を立て、6ヶ月ごとに一度モニタリングで見直しを行い、利用者に変化が合ったときは状況に応じ、見直しを行い家族の承認を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム外での支援は、職員のシフトの都合で出来ないがホーム内で家族の宿泊や食事などは可能である。今後、地域の人たちがホームを介護教室や行事などで利用してもらいたいと考えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関への受診は家族対応でお願いしている。家族がホームへ来訪する機会を増やしたいという考慮でもある。日々の利用者の変化についてはホームからの手紙を持参してもらう。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期については、契約時にホームで出来ること、医療機関に任せることなど説明のうえ、書類にして残してある。職員は終末ケアについての勉強会も行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の職員の話し合いの中で利用者への呼び方・個人のプライバシーへの配慮・ホームの来訪者への対応などにふれ注意している。入浴時の見守りも出来るだけ同性が対応している。書類の保存も個人情報に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は穏やかな態度でゆったりとしたペースで支援を行っており、食事も急がせることなく利用者のペースで支援されていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	気のあった利用者同士で会話しながら食事をしている。職員も同じ食卓で支援しながら同じ食事をとっていた。職員がしっかりと食事をしているか気遣う利用者もいた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は1階と2階で午前と午後に大体の時間は決めてあるが、希望があればいつでも入浴は可能である。時々気分を変えるためデイサービスでの入浴も楽しんでいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や得意なことを考慮し、料理・掃除・習字・室内の飾り作り・畑仕事などできることに取り組んでもらうようにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望にあわせ、買い物に同行してもらう。また毎月何かのレクレーションや季節の行事に合わせて外出をしたり、外食に出かけたりしている。今後、家族やボランティアの力を借りて個人外出の支援もしたいと考えている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関・居室には鍵をかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防の立会いで年2回の避難訓練を行っている。1月18日に救急法の訓練を受けた。災害時マニュアル連絡網はあるが夜間訓練や職員の集合訓練や地域との合同訓練は行っていない。	○	ホームの内容を理解してもらうためにも近隣住民の協力を得た上での防災訓練を実施して欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量・水分摂取量はバイタルと一緒にチェックしている。栄養バランスはデイサービスの栄養士によってチェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・廊下・浴室・トイレはフローリングで広く使いやすい。明るく広々としたリビングには、利用者の好みに合わせた色々なタイプの椅子が置いてある。リビングの一角にキッチンがあり料理を作る臭いが立ち込めていた。壁に利用者が作った作品が飾ってあり季節感がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はフローリングに畳の部分が設けてあり、利用者には馴染みやすい感じがする。居室には物入れ・洗面所が作りつけてあるが、利用者の好みの家具や仏壇が持ち込まれており個性に合った居室になっていた。		